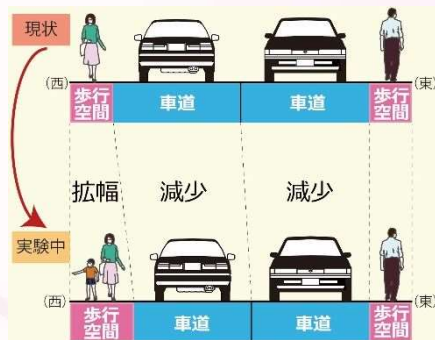


交通社会実験にご協力いただき、ありがとうございます

交通量調査、アンケート結果等をもとに

本町通り交通社会実験は、

継続的に実施していきます。



交通社会実験の結果報告

1. 多くの方から「歩きやすくなった」との回答を頂き、社会実験を「継続すべき」との声が多かった。
2. 車道幅員を狭めることに関して、自動車交通量に大きな変化はなく、自動車走行環境に関しては、影響がないとの意見が多かった。
3. 本町通りにおける事故件数について、実験前※1の1年間と実験開始後※2の約4か月間で事故件数の比率は変わらなかったが、実験開始後において、人身事故は発生していない。

※1：実験前（平成30年10月1日～令和元年9月30日）
※2：実験開始後（令和元年10月1日～令和2年1月29日）



調査結果のまとめは、裏面に掲載しています

今回の交通社会実験は、令和2年3月末までの期限でしたが、当面の間、交通社会実験を継続的に実施し、更なる改善に向けた調査を行います。

今後については、交通社会実験に併せて、安心して歩ける歩行空間の形成、沿道のにぎわい創出・回遊性の向上に向けた更なる取り組みを沿道にお住まいの方々との協議を踏まえながら、検討していきます。

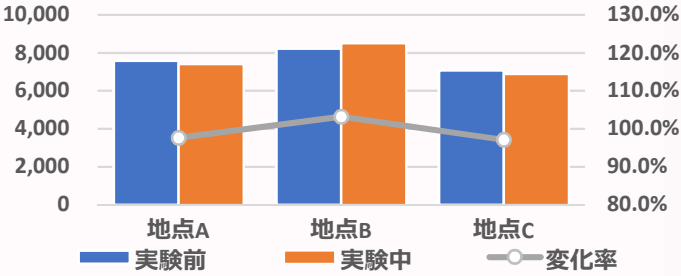
【問合せ先】 さいたま市都市局まちづくり推進部与野まちづくり事務所管理係
〒338-8686 さいたま市中央区下落合5丁目7番10号（中央区役所4階）
電話番号048-840-6153 ファックス048-840-6155 メールアドレス:yono-machidukuri@city.saitama.lg.jp

交通量調査結果

社会実験前：令和元年9月4日（水） 社会実験中：令和元年10月24日（木）
 地点A：赤山通り交差点 地点B：本町西（一）交差点 地点C：庚申堂交差点

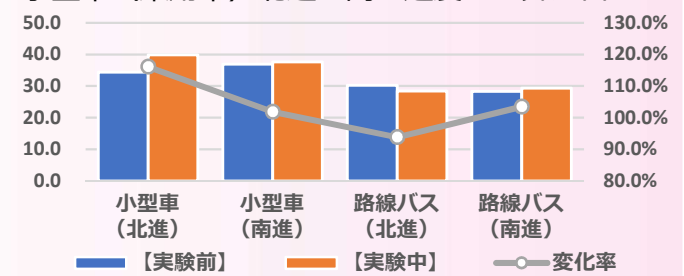
■ 自動車類交通量

・大きな変化なし



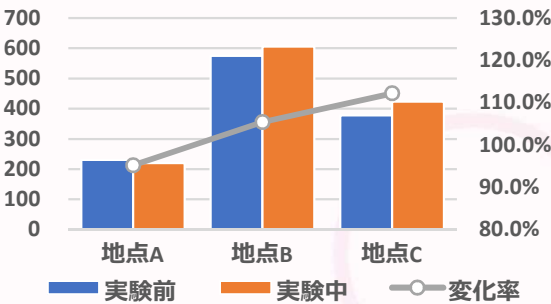
■ 自動車走行速度【梅林堂～埼玉信金の区間】

・小型車（乗用車）北進方向の速度の上昇が目立つ



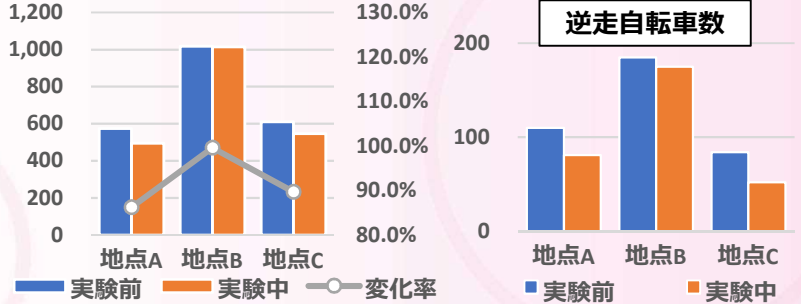
■ 歩行者類交通量

・全体は増加



■ 自転車類交通量

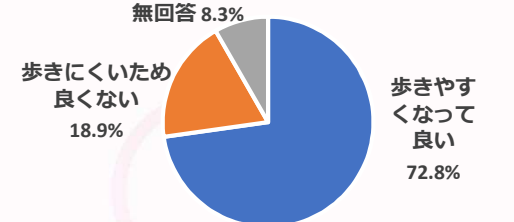
・各地点で減少、逆走は社会実験に関係無く一定数有



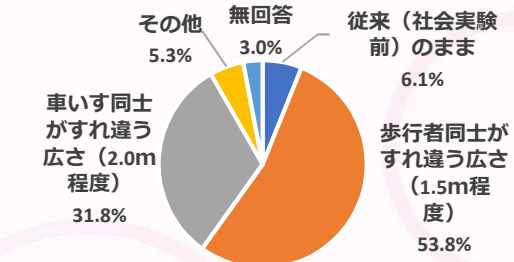
沿道住民アンケート調査結果

■ 車道幅員を狭めて路側帯（歩行空間）を広げる取り組み

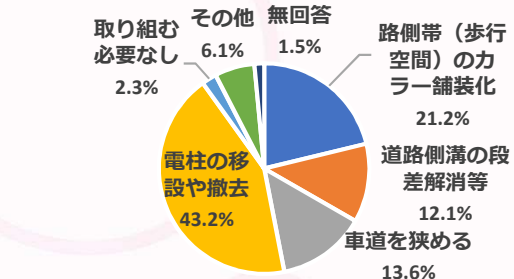
対象：交通社会実験区間を中心とした、本町通り沿道世帯
 方法：直接配布、郵送回収
 時期：令和元年12月26日（木）～令和2年1月15日（水）
 回収票数：回収数132票（配布数520票）、回収率25.4%



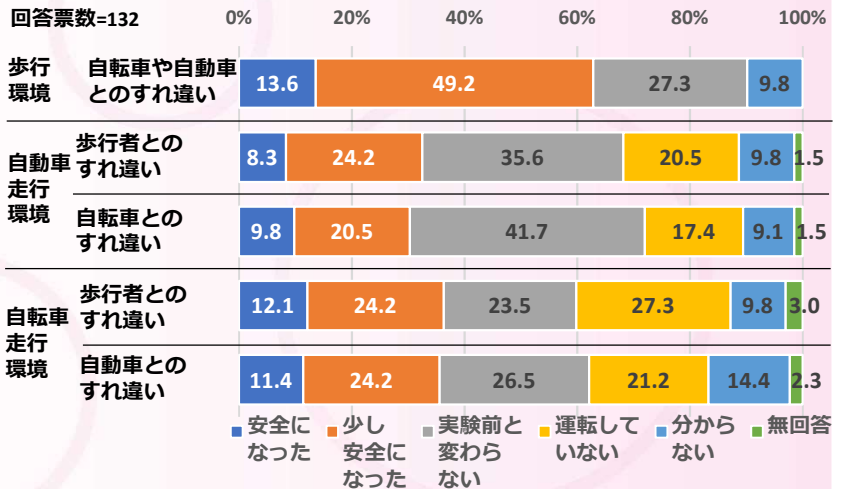
■ 本町通りにおける安全な歩行空間を実現するための広さ（幅員）



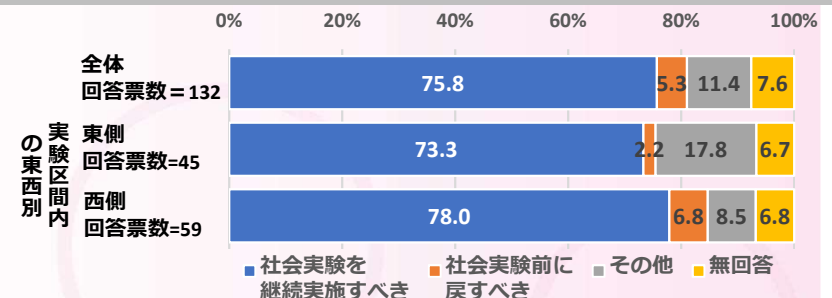
■ 安全な歩行空間を実現するための今後の取り組み



■ 交通社会実験による変化



■ 交通社会実験の今後の方向性



※調査結果の詳細につきましては、さいたま市ホームページに掲載しております。

【さいたま市ホームページ：<https://www.city.saitama.jp/001/010/015/006/p065934.html>】

このチラシは5,000部印刷し、1部当たりの印刷経費は、12円です。